

# たくさんさんの声と私： 生き生きとした内なる会話

私の胃が話すとき、いつも彼はお願いする。  
「もっと食べて、楽しくやりましょう！」

私の足が話しをするとしたら、たぶんこう言うでしょう。  
「もっと動き回って、今日も新たな発見を！」

私の性器が声を持つならば、きつこう提案する。  
「セックスは、素晴らしい選択だ！」

私のお尻が心地良さを認識できるなら、  
「さあ、座って、リラックス！」

私の財布が話しかけてくる時、躊躇しながら  
「儉約は必要不可欠。節約、節約！」

これらの声を聞いて、  
どの声に耳を傾けるか私は分からない。

私の忠誠心は、  
どの声に反応したらよいのでしょうか？

私の頭の中に不協和音が聴こえてきますが  
コンチェルトを奏でることができるのでしょうか？



**玲亜：** 単一の自己の概念はフィクションだ。ユバールハラリが言ったように、私達は「individuals (不可分の一人)」ではないけれども、むしろ分割された「di-viduals (分割可能の複数人)」。

**ティン：** それはそうかもしれないが、複雑な環境では、フィクションが効果的に機能するために必要です。多くの騒々しい競合するアイデンティティが私たちの中にあるにもかかわらず、単一のアイデンティティを持っていたかのように行動しないとイケない。

**悟：** 私は、人間を彼らのスクリプトを書き直そうとする対話型コンピュータ・ソフトウェア・プログラムと考えたいです。

**ミン：** あなたは、コンピュータの画面の前であまりにも多くの時間を費やしてきた。私達は肉体と血の生物学有機体だ。我々は、限られた弾力性と非常に有限知能があります。

- T Newfields (和訳：吉田典子)

開始：2016年 新台北市 ★ 完成：2018年横浜市

